

介護保険の改善に関する意見書

上記の議案を提出する。

平成16年6月29日

提出者

9 番 本 間 まさよ

7 番 梶 雅 子

武蔵野市議会議長 田 中 節 男 殿

## 介護保険の改善に関する意見書

介護保険は平成12年4月の施行後5年を経て、法に基づく全般にわたる検討と見直しの時期を迎えています。この間、高齢化の進行と制度の周知などが相まって、要介護認定者がスタート時の約218万人から平成15年12月には約376万人へと約7割増加し、制度改善への国民の願いは切実になっています。

ところが、被保険者の拡大や給付対象の縮小、利用料の引き上げ、障害者施策との統合などを検討する動きが伝えられ、高齢者と家族、関係者、国民の中に不安が広がっています。

介護保険を安心して利用できる制度へ改善することは、国民共通の願いです。

よって武蔵野市議会は、貴職が介護保険制度の見直しにあたり、下記事項について十分留意し、実現するよう強く要望します。

### 記

1. 介護保険料・利用料の高騰を抑制するため国の公費負担割合をふやすこと。
2. 保険料・利用料の低所得者向けの免除・軽減制度を国の制度として整備すること。
3. 特別養護老人ホームを初めとする基盤整備、および介護予防対策の拡充を図ること。
4. 障害者支援費制度との統合は行わないこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成16年 6 月 日

武蔵野市議会議長 田 中 節 男

内閣総理大臣  
厚生労働大臣

あて